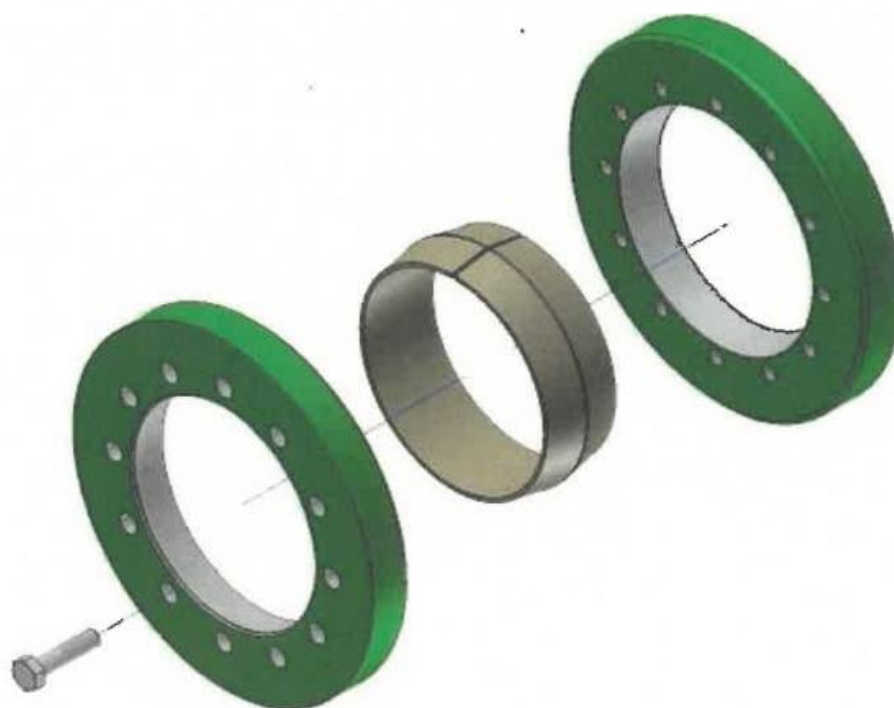
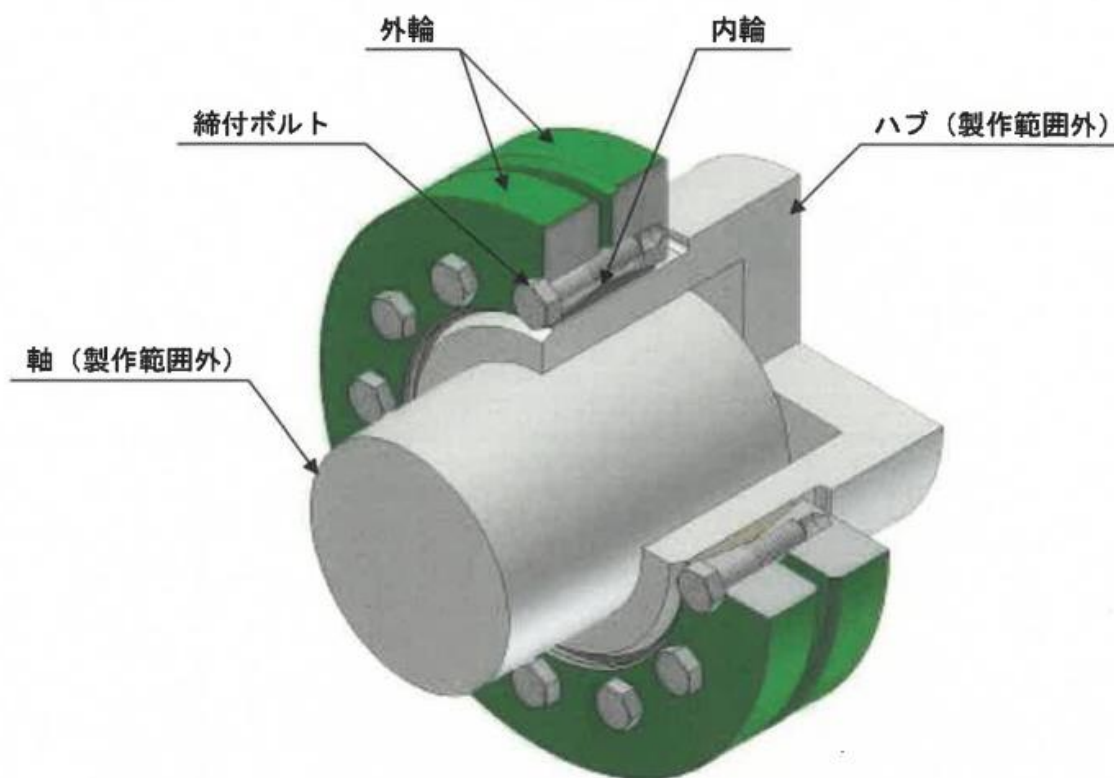


3 パーツ シュリンクディスク取付取外し要領

1 基本構成

3 パーツシュリンクディスクは、下図で構成されています。

締付ボルトを締めていきますと内輪を圧縮し面圧が生じます。この面圧はハブと軸とを締め付けることになり、摩擦によって軸とハブは一体となり、動力が伝達されます。



分解図

2 発送状態・取付前の確認

- 2.1 3 パーツシュリンクディスクは、ハブを締め付ける面(内輪の穴の表面)にグリースを塗布した状態で発送いたしますのでそのまま組立できます。



2.2 再使用

- ・今まで使用していた3 パーツシュリンクディスクを取り外して再使用する場合は、まず分解洗浄してください。
 - ・また、ボルトは新しいものに交換して下さい。(ボルトは弊社からのご購入をお願い致します。)
 - ・再組立前に、内外輪の接触部(コニカル部)は少量の、また締め付けボルト及びボルトヘッドと接触する面にグリースMolykote G-Rapid 或いは同等品(weiconR anti-seize等)を塗布してください。
 - ・締め付けボルトは、あらかじめ軽くねじ込んでテストしてみてください。
 - ・洗浄した後、外輪・内輪の接触部(コニカル部)及び内輪とハブが接する面に傷が見つければ、再使用は行なわないで下さい。
- なお、弊社では大口径のシュリンクディスクのオーバーホール業務も承ります。



ハブの孔およびそれに接する軸は油分を十分取除いてください。しかし、溶剤は使用しないでください。溶剤により腐食する恐れがあります。締め付けボルトは軸をハブに入れるまで強く締めてはいけません。

3 取付け

3.1 用意する道具

- ・トルクレンチ、その他、必要と思われる道具及び安全防具。
- ・締付けボルトのサイズに対する締付けトルクは、【表3.1】によります。

【表3.1】… 締付けトルク(weiconR焼付防止剤または同等品を使用のこと)

ボルト (10.9)	M4	M5	M6	M8	M10	M12	M16	M20	M24	M27
締付	2	4	12	30	59	100	250	490	840	1250
Nm(kg/m)	(0.2)	(0.4)	(1.2)	(3.0)	(5.9)	(10)	(25)	(49)	(84)	(125)

3.2 取付け手順

- (1) シュリンクディスクが容易に持てる重さなら、組立てたままハブに取付けてください。
重いシュリンクディスクは、分解してハブの上で組立てください。
- (2) ボルトを締め付ける前に、互いの外輪の面が平行であることを確認してください。
- (3) 締付けボルトに時計回り(あるいは反時計回り)に番号をつけます。
- (4) まずすべてのボルトを番号順に手締めを行います。
- (5) 次にトルクレンチにより、ボルトを番号順に、最初は90°ずつ、規定トルクに近くなった(凡そ規定トルクの80%)ならば30°ずつ、規定トルクに達するまで締め付けていきます。
- (6) 最終的にすべてのボルトが規定トルクで締められていること。また内輪、外輪の段差が全周にわたって均一であることを確認してください。
- (7) 最後に、再度、外輪が平行であることも確認してください。



注意

すべてのボルトが1回目で規定の締付けトルクで締付けられているのを確認できても、最初に締付けたボルトは、負担が低下するため、締付けトルクが低下している可能性があります。従い、その後も、番号順に規定の締付けトルクで締付け、緩みのないことが確認できるまで締付けを繰り返してください。

4 取外し

- ・通常のレンチで、番号順に90°毎ゆるめていき、ハブの上をシュリンクディスクが動く様になるまで、ゆるめる作業を続けてください。



警告

- 1) 少数のボルトに負荷が集中しない様に、一様にゆるめてください。
ボルトの永久歪、さらに破断につながる危険性があります。
- 2) どのボルトもねじ穴をつぶさないでください。
- 3) ボルト軸方向に身体の一部を置かないようにしてください。
- 4) 万一、外輪が平行でなければ、ボルトを絶対に取外してはいけません。外輪が突然に内輪から飛び出して怪我をする恐れがあります。そのため、すべてのねじを軽く緩め場合によっては外輪の間にくさびを入れて平行を出してください。